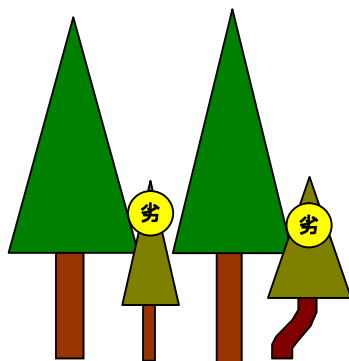


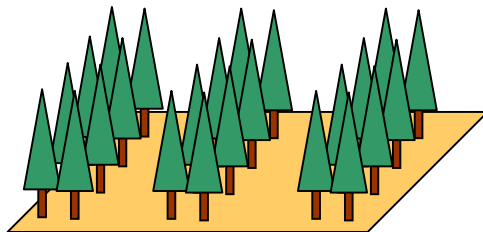
<間伐は、どうやってするの？>

- 間伐には色々な方法がありますが、成長の遅い木や曲がりくねった木（劣勢木）を伐っていくのが普通です。
- 間伐の回数や間伐率は、成長の程度や植栽本数によって異なることから一概には言えませんが、スギ人工林を例にとると、15年生、25年生、35年生と3回程度行うのが一般的です。
- また、間伐率（間引く木の割合）は30%程度が目安となります。
- 最近では、一本一本伐る木を選ばずに、列条に間伐を行う方法も行われています。



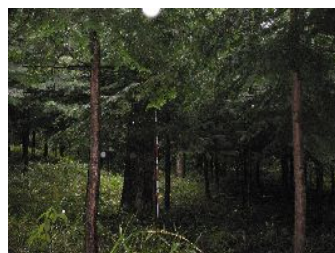
劣勢木を選んで伐ります。

列条間伐という方法もあります。

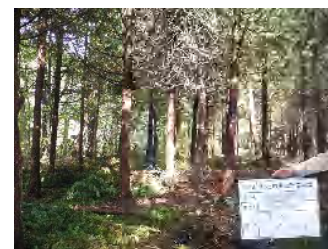


森林再生の現場から

- 冬から春先にかけて、間伐や枝打ちの適期を迎えます。
- 下の写真は、ヒノキ人工林の間伐を行う前と後の様子です。
- 間伐は、モヤシのように細い木が混み合った山を間引くことで、一本一本を太く育てる作業です。
- 間伐をしていない山は、薄暗く下草も無く、土壌流出の原因となります。また、雪害や風害に遭いやすいと言われています。
- この山も、間伐を行うことで、立派な山へと成長していくことが期待されます。



（間伐前）林内は真っ暗です。



（間伐後）林内に光が差し込み、明るくなりました。

森林整備を始めませんか？

山の手入れを支援する制度が動き出しました